

## 平成26年度東金市外三市町環境クリーンセンター焼却灰等の放射性物質濃度測定結果

東金市外三市町環境クリーンセンターでは放射性物質汚染対処特措法に基づき焼却灰等の放射性物質濃度測定を実施しており、下記の通り全て埋立基準を満足しております。

測定機関 株式会社ダイワ  
 測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省 平成25年3月)  
 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー(文部科学省 平成4年)  
 使用測定機 キャンベラ社製 ゲルマニウム半導体検出器(7500SL)

平成27年3月現在

測定対象	試料採取日	測定値(ベクレル/kg)		
		放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
焼却灰	4月30日	16	39	55
	5月28日	10	28	38
	6月26日	不検出	18	18
	7月25日	8	22	30
	8月27日	不検出	17	17
	9月25日	不検出	18	18
	10月28日	不検出	12	12
	11月13日	不検出	17	17
	12月26日	不検出	10	10
	1月26日	不検出	不検出	不検出
	2月5日	不検出	16	16
	3月10日	不検出	12	12
	焼却飛灰	4月30日	75	200
5月28日		64	200	264
6月26日		64	170	234
7月25日		59	180	239
8月27日		46	140	186
9月25日		43	160	203
10月28日		39	140	179
11月13日		69	210	279
12月26日		55	180	235
1月26日		34	120	154
2月5日		24	97	121
3月10日		34	110	144
溶融スラグ		5月23日	9	25
	12月10日	不検出	13	13
	3月11日	不検出	11	11
溶融飛灰	5月23日	140	410	550
	12月10日	53	180	233
	3月11日	110	390	500

〈備考〉

焼却灰とは、ごみを燃やした燃えがらのことで焼却炉の底から排出される灰のことです。  
 焼却飛灰とは、ろ過式集じん器で集められた排ガスに含まれている細かなちり(ばいじん)のことです。  
 溶融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし、冷やし・固めてできるガラス状の物質のことです。

〈基準値等〉

「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則(平成23年12月14日環境省令第33号)」に定められた基準	指定廃棄物の指定基準(焼却灰等の埋立基準)	セシウム134とセシウム137の合計	8,000	ベクレル/kg
	事業場の周辺の大気中の濃度限界	セシウム134	20	ベクレル/m <sup>3</sup>
		セシウム137	30	
	事業場及び最終処分場の周辺の公共の水域の水中の濃度限界	セシウム134	60	ベクレル/l
		セシウム137	90	